

第6回 有体物管理センター シンポジウム

「生物資源を取り巻く法規と最新動向
- 研究者が守るべきルール」

今回、食料及び農業のための植物遺伝資源に関する国際条約が2013年10月に日本が締約国になり、名古屋議定書が2014年10月に発効し、大学の研究に少なからず影響が出てくることになる。今回、研究者や大学事務の担当者が、生物多様性条約の基礎、現在の動向と今後の動き、関連する国際条約、加えて遺伝資源の授受に関する関連法規・ルールを総合的に知り、理解すること（俯瞰すること）により、より健全な大学における研究を推進できるようにすることをこのシンポジウムの目的とする。

Program

- 13:00 - 13:30** 受付
- 13:30 - 13:40** 開会の挨拶 農学研究院長 平松 和昭
- 13:40 - 13:50** シンポジウム趣旨説明 有体物管理センター 深見 克哉
- 13:50 - 14:10** 名古屋議定書について
文部科学省 研究振興局ライフサイエンス課 ゲノム研究企画調整官 渡邊 淳氏
- 14:10 - 14:40** 生物多様性条約及び名古屋議定書関連の動向
- 「遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS)」の観点から -
一般財団法人バイオインダストリー協会 井上 歩氏
- 14:40 - 15:00** ITPGR への加入と今後の遺伝資源の利用の展望
農林水産省大臣官房 環境政策課 地球環境対策室長 作田 竜一氏
- 15:00 - 15:10** - 休憩 -
- 15:10 - 15:20** 動物検疫に係る輸入禁止品の輸入手続について
農林水産省動物検疫所門司支所 検疫第1課 福田 雅義氏
- 15:20 - 15:50** 植物検疫制度について
門司植物防疫所輸入検疫担当 次席植物検疫官 吉永 修治氏
- 15:50 - 16:10** 有体物管理センター活動報告 - 海外遺伝資源管理の取り組み -
有体物管理センター 深見 克哉
- 16:10 - 16:30** 総合質疑
- 16:30 - 16:40** 閉会の挨拶 有体物管理センター長 久原 哲

平成 26 年
11月13日(木)
13:30 ~ 16:40

九州大学(箱崎地区)
創造パビリオン
ゼミナール室

参加申し込み

<http://mmc-u.jp/doc/event/>

※ホームページ内の参加申し込みボタンよりお申し込みください。

お問い合わせ

九州大学 有体物管理センター

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号 産学連携棟Ⅱ 創造パビリオン2階

[TEL] 092-642-7317 [FAX] 092-642-7130

[Email] mmc@mmc.kyushu-u.ac.jp [URL] <http://mmc-u.jp/>



MMC
Material Management Center
有体物管理センター

